

服装や持ち物

ヤゴ救出の日は、水が30cmくらいのこったプールで作業をします。

プールサイドやプールの中では、すべりやすいので絶対に走らないでください！

はだしやビーチサンダルは絶対にダメです。長ぐつも動きにくいのでやめましょう。

◎服装や持ち物

- ・ぬれても良い服（体そう服など） ・タオル
- ・ぬれても良いすべりにくい運動ぐつ
- ・着がえの服、くつ下、下着など（全身ぬれることがあります）
- ・ビニール袋（ぬれた服などを入れる）
- ・ぼうし（日差しが強いとき） ・軍手（予備で）
- ・ヤゴを持ち帰るための入れ物（ペットボトルなど）

◎かたづけ

- ・よごれた手足を洗い、着がえて、ぬれたくつなどをかたづける。
- ・つかまえたヤゴは、持ち帰り、大切に育てよう。
- ・その他の水生昆虫は近くのビオトープなどの池に放してあげよう。



さくねん ようす しば
昨年の様子（芝小学校）

ヤゴの飼いかた

木のえだ
(羽化のとき足場になる)

石や水草
(ヤゴがかくれる)

わりばし

●水

水道水でも大丈夫ですが、一日くみおきた水が安心です。エサやフンで汚れたら、かえてあげましょう。

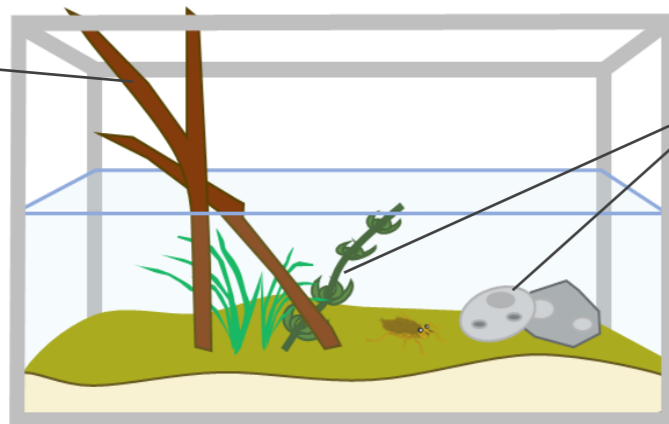
●エサ

ヤゴは生きたものをたべます。イトミミズやアカムシなどをあげましょう。イトミミズなどはペットショップで用意しなければなりません。家で飼うときはお父さん、お母さんに聞いてから飼うようにしましょう。

●ペットボトルを使った容器

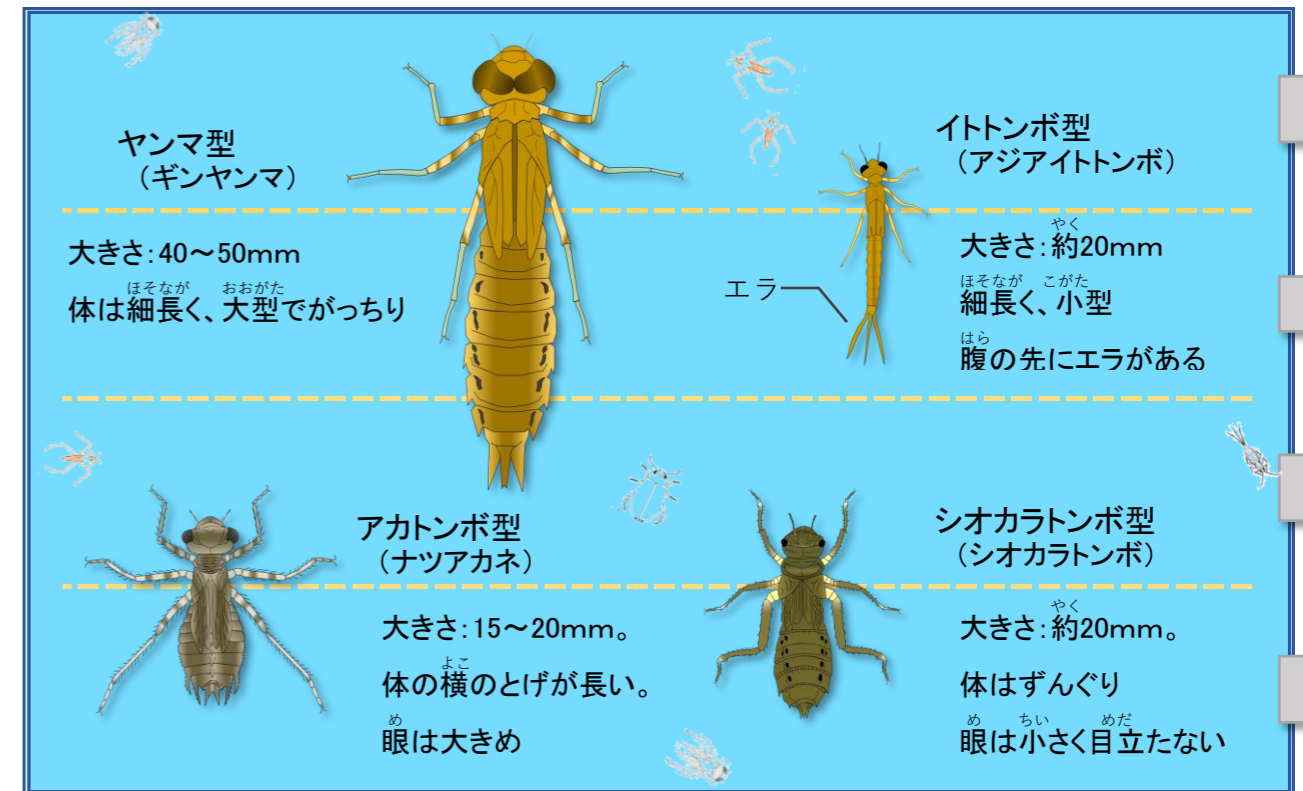
ペットボトルを下から10cmくらいの高さで切り取ります。羽化するためのわりばしを容器にはさんだら、できあがりです。

※共食いをしてしまうので容器に入れるのは1匹にしましょう。



プールのトンボ

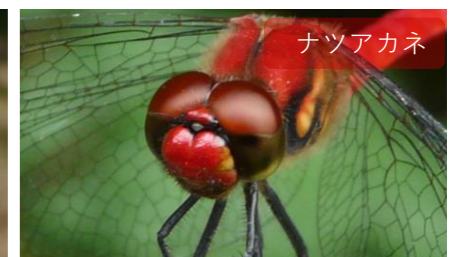
学校のプールには、ヤゴと言われるトンボの幼虫などが生息しています。ヤゴがトンボになり飛び立つ前にプールを掃除すると、みんな死んでしまいます。そんなヤゴたちを助けて、大切に育て、飛び立たせてあげましょう。



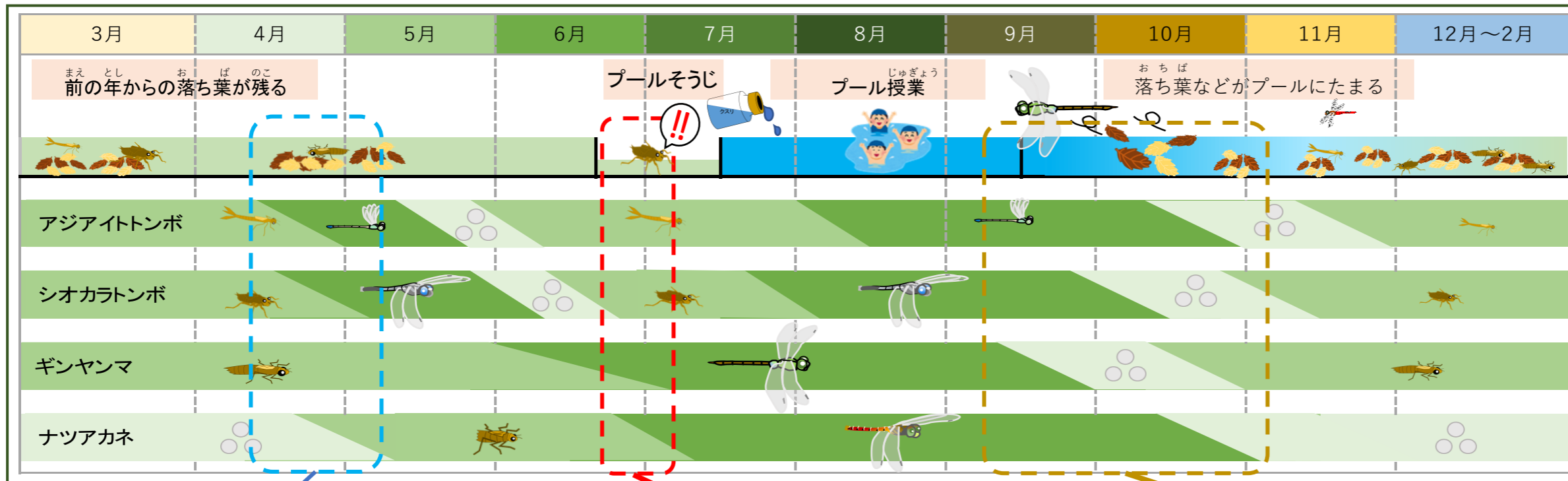
トンボは池や田んぼ、川などに卵を産み、そこでヤゴが成長し、羽化して成虫になります。でも、トンボが卵を産むのは池や田んぼだけではありません。夏の水泳シーズンが終わり、人間が使わなくなったプールにも、トンボたちが卵を産みにやってくるのです。

トンボの眼

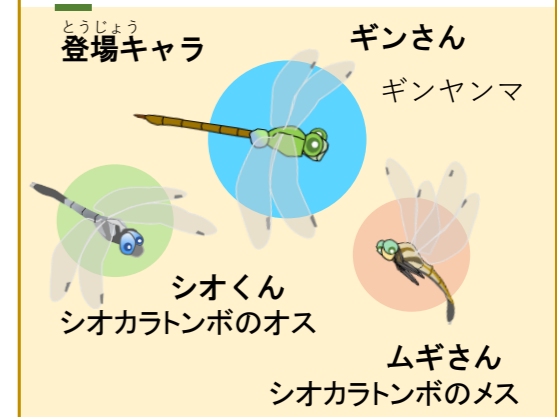
トンボの眼は種類によって、しっかりとくっついているもの、少しだけくっついているもの、離れるものなどがいて、これで仲間わけができます。
※ オニヤンマは小川などきれいな水の流れる場所にいるトンボで、街中では見られません。



フールとトンボの一年



まちトンボ物語



ヤゴからトンボへ

すべ
つて
のぼ
れ
ない!

ヤゴは、草などを登って、水から出てきます。

でもプールのかべを登るのは、むずかしそうです。

ヤゴたちがちゃんと羽化するためにはどうしたらいいんだろう？

ヤゴのために、こんなことをしてあります。

ネットで羽化をするアジイトトンボ



プールに張られたネット↓



ヤゴ救出隊

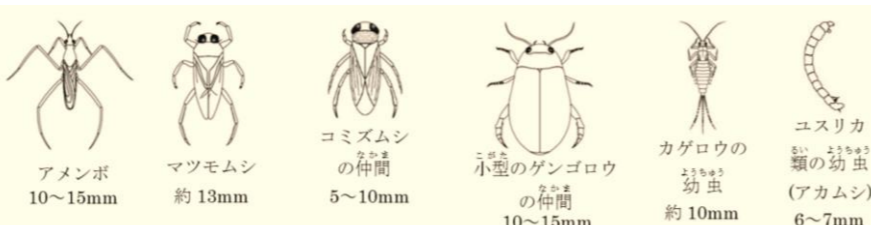


助けて...

プールの水を抜くと、ヤゴがいっしょに流されてしまいます。もう少しで、トンボになれるところだったのに...

たくさんのヤゴを救出してあげましょう。救出の時に、ふみつけないようにね。

プールの中にはヤゴ以外にもいろいろな生き物がいます。ヤゴと同じように助けてあげましょう!



プールのヤゴは何を食べている？



学校のプールにヤゴの食べものってあるかな？ 答えは、ヤゴ救出観察会で！

ヒントは左の写真だよ



どうやって卵を生むのかな



①シオカラトンボは尾の先を水につけて、卵を生み、②ナツアカネは、連結したまま空中で尾を振り卵をばらまきます。③ギンヤンマや④アジイトトンボは、草や木の中に卵を生み付けます。また⑤オニヤンマは小川の砂の中に、産卵管をさしこんで産卵します。

プールのトンボは、どうやって生んでいるのかな？